



新しいシンボルとなる大きな一枚屋根

「第二の空」としての大きな屋根の下に、様々な市民の活動が集まります

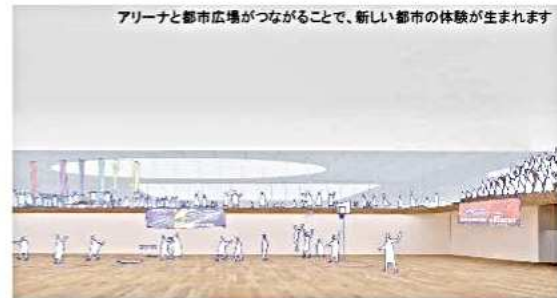
柔らかく光を透過する一枚屋根が、「第二の空」として都市の中に開放的な場所をつくります。ゆるやかなランドスケープ的な起伏の中に、アリーナ、海の見えるロビー、都市広場など、機能や活動に応じた様々な場所を設けます。これらを「第二の空」としての大屋根がおおらかに包み込み、多様な市民活動が展開されます。都市に対して積極的に関いた体育館がつけられます、新しい公共空間を提案します。

ひとつつながりのデッキ空間によって、周辺環境と一体的に利用できる空間をつくります

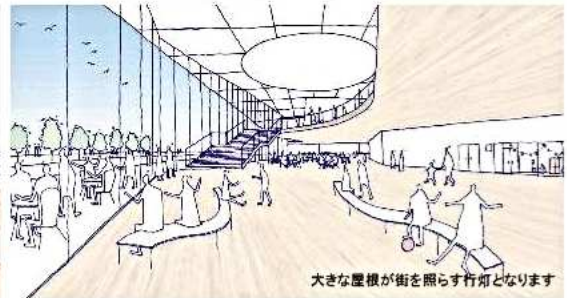
緩やかな起伏の起伏によって、多目的広場と2レベルの都市広場（屋外交流スペース）が連続になります。都市広場の先では、ロビーを通して全面に海を眺めることができます。周辺と連続した、ランドスケープの空間とすることで、街に開かれた施設とします。



プロムナード 大きな軒下空間 海の見えるロビー アリーナ 原景の下の都市広場 都市の中の丘 多目的広場



アリーナと都市広場がつながることで、新しい都市の体験が生まれます



大きな屋根が街を照らす行灯となります

海/港/既存施設をつなげる。都市のハブとしての開かれた公共空間

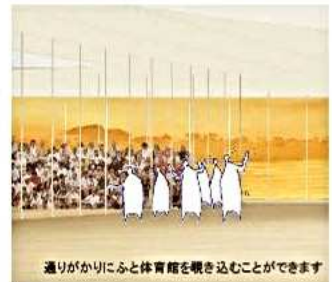
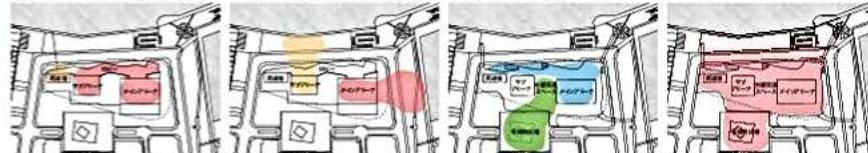


屋根に守られた都市広場が、海と町をつなぎます



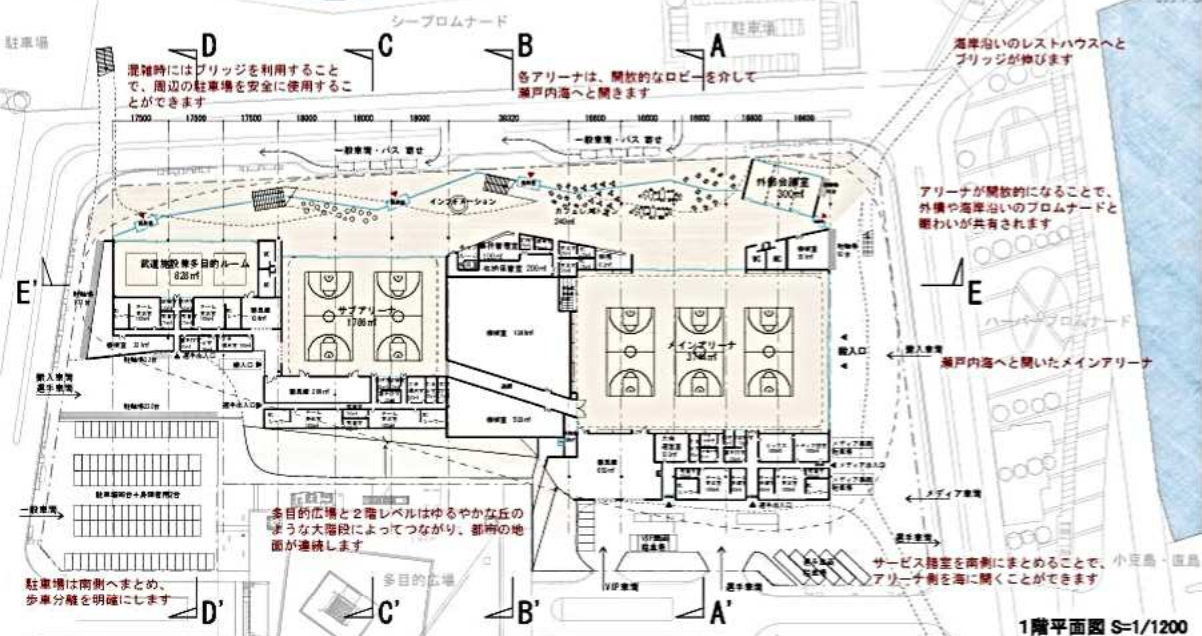
各アリーナ間、ひいては周辺環境と連携してフレキシブルに利用できます

日常的にガラス張りの体育館が見え、また実際に活用しやすいように体育館を街に開くことで、市民が愛着を持つことができる建築を目指します。各アリーナはロビー（さらには北と東の海岸）に対して大きく開き、東西に長い大きな気候のロビー空間が全体を立体的につなげています。そうすることで、例えば大規模なスポーツ大会時は、東西に長いロビーを通して各アリーナを連携して利用できます。瀬戸内芸術祭など街をあげてのイベントの時は、海岸のプロムナードまで一体的に利用してイベントを開催したりできます。また、大階段を介して屋外交流スペースと多目的広場を一体的に利用することもできます。様々な形態、内容の活動に対して、建物だけでなく周辺環境とも連携しながら空間をつなげたり仕切ったりすることで、フレキシブルに利用することができる計画となっています。



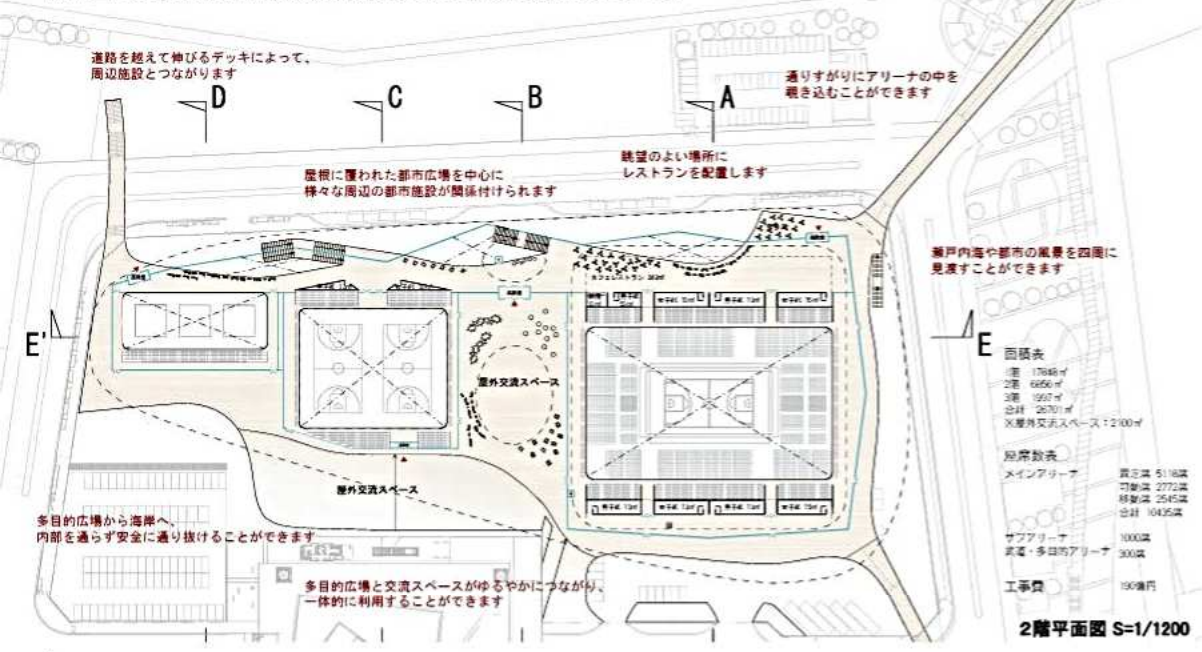
通りがかりにふと体育館を覗き込むことができます

1階：閉じた構案を南側へまとめることで、ロビー及び各アリーナを瀬戸内海へ大きく開くことができます



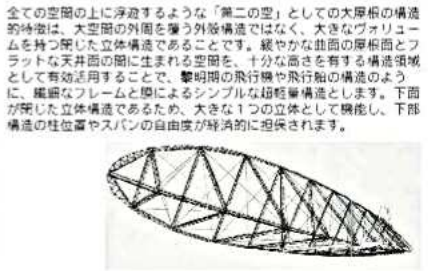
1階平面図 S=1/1200

2階：多目的広場など周辺の都市施設をつなぎ合わせる、ひとつながりのデッキ空間



2階平面図 S=1/1200

天井面と屋根面によって包まれたヴォリュームが飛行船のような軽やかな構造を実現します

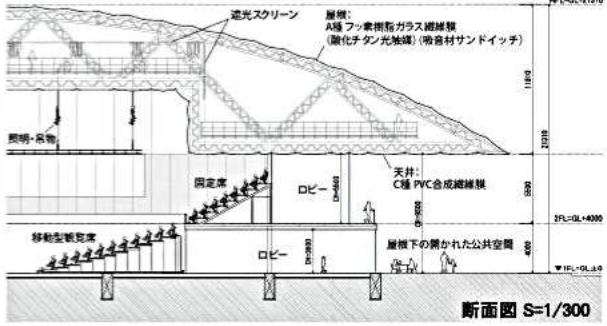


経路のトラスで構成された閉じた立体フレーム

サブアリーナと武道場の間に配置した構造柱が水平力を受け流す

メインアリーナのスタンドが水平力を受け流す

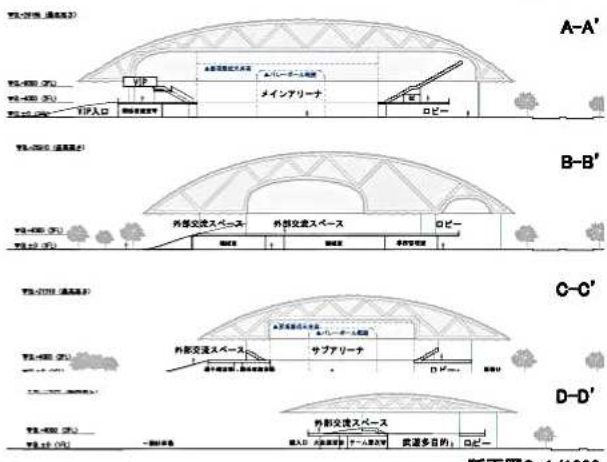
大きな天井はメンテナンスや設備空間として有効活用されます



断面図 S=1/300

大屋根は機能に応じて断面形状が変化します

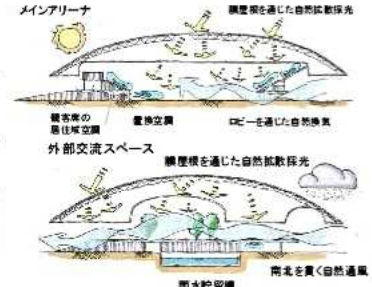
大屋根のヴォリュームは、各機能に応じて、適切な断面形状となっています。例えばメインアリーナでは最も大きくへこむことで高さを確保し、武道及び多目的ルームではへこみをなくしたフラットな面とするなど、適切な空間としています。どこからでも見える天井面の形状を工夫することで、場所ごとに特徴を与え、多様な空間体験を提供することができます。



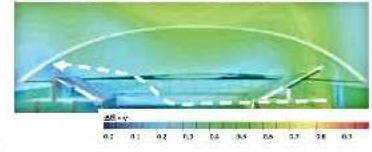
断面図 S=1/1000

自然エネルギーを活かした効率的な環境・設備計画

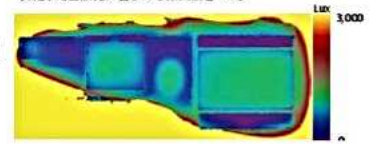
自然エネルギーを積極的に利用することで、ライフサイクルコストの削減、建物の長寿命化を実現します。また、空調・換気エネルギー消費量を低減します。



自然通風解析



自然採光解析



遮光・遮音計画



メインアリーナ南側に遮音壁を設置することで、西側住宅地への騒音を遮断します

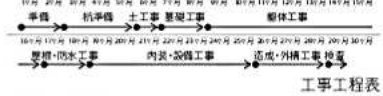
面積表

1階	17045㎡
2階	6250㎡
3階	1997㎡
合計	25292㎡
※屋外交流スペース	12000㎡

座席数表

メインアリーナ	固定席 5116席
	可動席 2772席
	移動席 2645席
サブアリーナ	合計 1045席
サブアリーナ	3000席
武道・多目的アリーナ	300席

工事費 190億円



断面図 S=1/1000